

もう限界! 看護師などを増やしてください

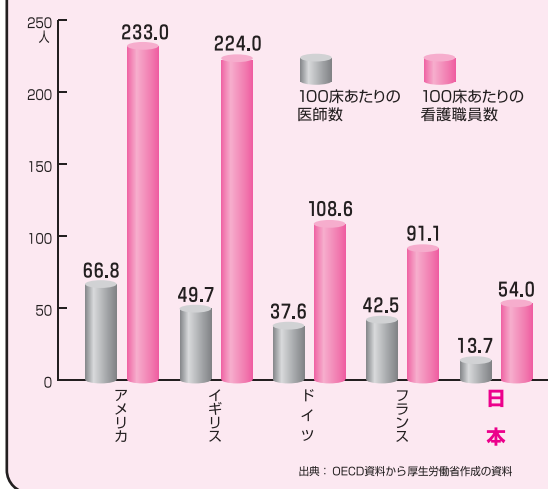


こんなにひどい状況になったのは、国が社会保障費を抑制し、看護師などの増員を厳しく押さえ込んでいるからです。医療事故をなくし、安全でゆきとどいた医療・看護を実現するために、諸外国に比べて極端に少ない医師や看護師などの配置基準を抜本的に改善し、医療従事者を大幅に増やすことが切実な課題です。

国に対する私たちの要求

- 1 医師・看護師など医療従事者を大幅に増員してください。
- 2 看護職員の配置基準を、「夜間は患者10人に対して1人以上、日勤時は患者4人に対して1人以上」とするなど、抜本的に改善してください。
- 3 夜勤日数を月8日以内に規制するなど、「看護職員確保法」等を改正してください。

こんなに少ない日本の人員体制



人員配置基準の引き上げを

いま、医療の現場は目の回るような忙しさだ。特に看護師では、慢性疲労が77・6%、健康不安が64・7%にも達し、辞めたいと思っている看護師が73・1%にも及んでいます。人手不足は、患者さんのいのちと安全も脅かしています。「十分な看護が提供できていない」という看護師は8・1%に止まり、「この3年間にミスやニアミスを起こしたことがある」という回答が86・1%にも達しています。医師の場合も深刻で、病院勤務医



の週勤務時間は平均66・4時間にもなっています。退職者が後を絶たず、医師や看護師の不足が各地で問題になっています。労働条件を改善し、働き続けられる職場をつくる必要があります。

医療現場はかつてない深刻な実態

国会請願署名にご協力ください

医労連 (日本医療労働組合連合会)
 〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 医療労働会館2F
 TEL.03-3875-5871 FAX.03-3875-6270
<http://www.irouren.or.jp>

全大教 (全国大学高専教職員組合)
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-14
 朝日神保町プラザ201
 TEL 03-3262-1671 FAX 03-3262-1638

自治労連 (日本自治体労働組合総連合)
 〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7
 自治労連会館
 TEL.03-5978-3580 FAX.03-5978-3588